

# かまどめしを炊こう!! ~ 吟味汁を体験~

## 吟味汁とは…

吟味汁（ギミジル）は、主に旧大字単位の初寄りで食べられる汁物を指すことが多く、特定の材料や方法で作った汁物を指すものではありません。したがって、一口に吟味汁といっても、それぞれ食される旧大字によって内容は異なります。吟味汁の内容はそれぞれ異なりますが、共通することは、いずれの大字でも吟味汁とともに食すご飯や、盛り付けに必要な椀や膳を参加者がそれぞれ持参する点です。また、吟味汁が行われている（行われていた）ことが確認できるのは、主に旧大宝村、旧治田村の大字です。

初寄りは旧大字単位で各家の代表が集まり、一年間の行事予定や役員などが決められます。議案を吟味（念入りに調べて選ぶ）する場で食される汁物、ということで吟味汁とよばれるのでしょうか。大字によっては、初寄りでの決定事項が守られているかを確認するために9月頃に再度集まり、同じように吟味汁を食べる場合もあります。



▲吟味汁の様子

ご飯・膳・椀などは参加者が持参するので、並んでいる膳椀がそれぞれ異なる。（2005.2.6 十里での吟味汁）



▲吟味汁の膳 （2005.2.6 十里での吟味汁）

## 栗東市内で行われている(行われていた)さまざま吟味汁

### 縷 番汁・吟味汁

番汁・吟味汁とよばれる。年2回(初寄りと八朔)の寄り合いの場で朝食として食べられる。

初寄りでは主に農事の日程、八朔では予定が守られているかを確認する。

それぞれ当番が味噌汁と煮しめを用意し、参加者はご飯・椀・膳を持参。

初寄りでは“番汁”、八朔では“吟味汁”とよばれる。

### 小平井 吟味汁

旧大字全体での初寄りに先立ち、大字内の2つの組ごとに集まり、その協議の場で朝食として食べられる。

参加者はご飯・椀・膳持参。当番が作る、味噌仕立てのかぶら汁とともに食べる。

### 十里 吟味汁

全体での初寄りに先立ち、大字内の3地区それぞれの協議の場で朝食として食べられる。

当番がかす汁と漬物を用意。参加者はご飯・おかず・椀・膳を持参。

### 美里 吟味汁

初寄りの場で食べられる。寺に集まり、当番が作った、豆腐・小芋・揚げを入れた味噌汁を食べる。

### 蓮台寺 吟味汁

蓮台寺(現在は下鉤の一部)での初寄りで食べられる。

当番は、するめで取った出汁で、コロとよばれるくじら肉入りの汁を作る。

### 中沢 決め汁

旧大字全体での初寄りの場で食べられる。「決め汁」とよばれる。

決め汁のほか、コンニャク、イワシなどを食べる。

この一覧は、昭和59～61年代にかけて栗東市(町)による市内の民俗調査(「栗東町民俗調査票」)にもとづいて作成しています。また、十里については栗東歴史民俗博物館が小地域展「十里の歴史と文化」に合わせて2005年に行った調査を、縷は「縷の歴史と文化」(縷自治会編 2006年)も参考にしています。

メモ